

令和 6 年度第 5 回日野市指定管理者候補者選定委員会 議事録

1 概要

| | |
|---------|--|
| 日 時 | 令和 6 年 8 月 22 日（火） 10 時 00 分から 12 時 00 分まで |
| 場 所 | 日野市役所本庁舎 4 階 庁議室 |
| 出 席 | 【委員】赤久保委員長（企画部長）、竹村副委員長（総務部長）、中沢委員（地域協働課長） 【応募事業者】特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会 |
| 事 務 局 | （道路課）糊澤主事 （企画経営課）松井主幹、永尾 |
| 傍 聴 者 | なし |
| 議 事 | ● 委員長・副委員長の選任 ● 日野市立万願寺交流センターの選定について ➤ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会 |
| 記 録 作 成 | （企画経営課）永尾 |
| 配 布 資 料 | 応募書類一式、採点表等審査資料一式 |

2 要点録

（1）委員長・副委員長の選任

○ 事務局

委員長は日野市指定管理者候補者選定委員会設置要綱に基づき主管部長である企画部長とした。
副委員長は互選により、総務部長とした。

（2）日野市立万願寺交流センターの指定管理者の選定について

① 施設概要説明

○ 施設所管課(地域協働課)

施設の概要及び運営方針等について説明。

■ 委員

期間が1年である理由は。

○ 施設所管課

交流センターの現状の利用として、子育て世帯を中心とした利用が一定程度あり、施設効果が見られている。

併せてさらに多世代交流というのが考えられていく中、今後の在り方に向けて検討をしていきたい、まずは1年ということで考えている。

現状は3年の期間だったが、今後の運営を考えるうえでの熟慮期間とした。

② プレゼンテーション及び質疑応答（特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会）

＜特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会入室＞

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

■ 委員

現状、利用率自体はかなり高い印象をもった。はらっぱの活動をされていらっしゃる、その利用率も含まれているか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

含まれている表と、はらっぱを除いた表の両方を掲載している。

■ 委員

はらっぱの活動をしているだけでかなりの利用率を占めるが、他の利用はどういう需要か。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

一番需要があるのは、大きな部屋。映像室や多目的室を楽器の練習に使われる方が多い。

■ 委員

年齢層は。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

幅広い年齢層。年配の方もいらっしゃる。

■ 委員

音漏れは。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

多目的室は全く漏れない。映像室は漏れるため、苦情があった場合は、防音になっていないことから、苦情が出たら利用を中止することを条件にしている。

幸い、今のところトラブルはない。

■ 委員

展示室の利用は今後どのように考えているか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

当初は利用が少なかったが、ふれあいミニ展示というかたちで拡大し、地域の団体や地域の方々に3か月ずつ利用いただいて、その方が展示してお友達に見に来てもらったりしている。

広報周知も進んでおり、利用が増えてきている。

■ 委員

要員配置計画書の受付清掃業務従事者、というのは、日野子育てパートナーの会員、ということか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

賛助会員とはなっていたが、正会員じゃなければいけないということではない。

■ 委員

広場事業と指定管理業務の 2 種類が大きな委託になっているが、人件費等の分けはどうなっているか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

受付はすべて指定管理業務で算出している。

子育て広場は別の時間でその事業の委託料で算出している。重なるところは全くなく、分離して別々に計算されている。

■ 委員

経理は専門の方がいるのか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

経理は我々でやっているが、税理士の方に月に 2 回ほど来ていただいている。

■ 委員

地域の関係機関との連携というお話があったが、交流センターを運営していくうえで地域にご協力いただいていることや、関係機関に優先的に施設を利用していただいていることはあるか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

そうしたことは全くない。

■ 委員

楽器の演奏や子育てなどは、決まった方が使っている印象か。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

平等にお使いいただいている。優先してお使いいただくこともないし、新規の方もいる。

湯沢で使いにくくなったから、ということで利用しに来られたり、野球の保護者などが集まりに使ったりなど、いろんな方がお使いいただいている。

■ 委員

利用者はどういう接点で知るか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

今まで使っていたところから「ほかにどこかないか」ということで紹介されたり、公園に立ち寄られて知られたり、ということがある。

■ 委員

元々、新選組フェスタで作ったので、当初の用途ではない。使い勝手としてはどうか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

交流センターとして作られた建物ではないので、子育て支援の場所としてはドアが重いとか階段とか、使いづらい面は多い。受付から入ってくる人が見えない、天井が高いので暖房が効きにくく、冬場は足元が冷たいなど。ホットカーペットを導入するなどで対応している部分もある。

■ 委員

個人情報の管理の関係で、子育てパートナーさんの方ではどうしても広場事業とセットになってしまいが、どこでどのような管理をされているか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

事務所内のカギのかかるところで、毎日カギをかけて管理をされている。持ち出すことはない。

<特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会退室>

③ 主管課質疑応答

■ 委員

修繕計画はどうなっているか。

○ 施設所管課

来年度大規模改修予定。その他にも冷暖房が壊れているので今年やらなければいけない。

■ 委員

今事業者がご指摘された点の反映は。

○ 施設所管課

動線の見直しなど、今年も調整を進めている。大規模改修時に使い勝手がよくなるようにと考えている。その準備期間としても1年間を考えている。

また、展示室の利用率を上げていただいて取り組んでいる。

多世代がさらに使いやすいように、そこの在り方をどうして行くべきか。今年、来年にかけて考えていきたい。利用率の低いところにテコ入れをして向上につなげていくなどして行くことが必要で、そこを考えていかないと、多世代交流は難しいと考えている。

■ 委員

市としては、本来の施設目的といったときには、それに合わせた使い勝手を考えていく必要がある。利用率などの数字をもって、ここを伸ばしていきたい、という整理が必要。

1年という期間設定だが、普通は数年間でスケールメリットを持たせるところ、事業者の反応は同だったか。

○ 施設所管課

今年度ベースで積算をしているので、人件費と委託料が若干上がったくらいで、単年度でも数年度でも金額の違いはないような印象を受けた。

■ 委員

今まで3年だったものが1年、となったら、ここで継続が切られる、と解釈されるのでは。

○ 施設所管課

子ども家庭支援センターとも今後どうしていくか、という話をしている模様。

児童館との関係もあり、立地上の再編と一緒に検討している。場合によっては更なる延長ということも可能性はある。

施設の在り方も違う方向性になる可能性もある。

■ 委員

最初に交流センターの管理運営を私たちが市から任されたのに、などの話をされることはあるか。

○ 施設所管課

そういうことを言うてくる団体ではない印象だし、現に聞いていない。今後の話次第ではそういうことにもなるかもしれないが。

■ 委員

会員の方もずっとやっている方も多いか。

○ 施設所管課

そのような印象。

<施設所管課退室>

④ 意見交換

■ 委員

特になし

⑤ 採点

■ 委員長

採点、提出いただき次第終了。

(閉会)